

壁紙施工要領書
- 塗装壁紙・P-WALL -

【該当品番】

(2017-2020WILL)

LW-2882~2884 (裏打ち紙無)

LW-2885 (裏打ち紙有)

(2013-2017WD)

LY-14790・14791、14793・14794 (裏打ち紙無)

P-WALL は、指定材料のピーウォールクロス（壁紙）とピーウォールペイント（塗料）を使用し、指定工法に基づいて管理、施工される商品です。この条件を満たした場合においてのみ、リリカラの責任管理による防火壁装材料として認められます。

■防火性能

商品名	材料区分 (種類)	防火 種別	防火性能			
			不燃下地	不燃石膏ボード	準不燃下地	金属下地
ピーウォール	その他塗装仕上げ 壁紙	1-1	不燃	不燃	準不燃	準不燃

■ピーウォールクロス施工前の確認

1. 下地の状態確認

●キズ、汚れ、凹凸等の有無

- ・ボードの不陸やジョイント面の段差はパテ処理で平滑にしてください。
- ・モルタル、コンクリートは適切な下地処理を行ってください。

注意 一般のクロス施工より特に入念に行ってください。

●基材の固定状態

- ・動くもの、納まりの悪いものは必ず適切に処置してください。

●釘、ネジ

- ・打ち込み状態は下地表面より沈んでいることが重要です。
- ・ステンレス、真ちゅう以外は錆止めをしてください。

【壁紙施工要領書 - 塗装壁紙・P-WALL -】

●外部からの水分、湿気の侵入の可能性

- ・雨漏りや表面結露がある場合はカビの原因となるので、必ず水気を取り除き、十分に乾燥させてから施工してください。

●下地の乾燥

- ・下地が十分乾燥しているのを確認の上、施工に入ってください。
- ・下地基材の乾燥には下記の期間が必要です。

コンクリート	30 日以上
モルタル	14 日以上
石膏ボード	10 日以上

●出隅、入隅の処理

- ・出隅—コーナービートで補強し、パテ付けの上、サンダーで直線を出してください。
- ・入隅—パテ+サンダーがけを行います。隙間が大きい場合は現場に修正を要求してください。

2. 材料の確認

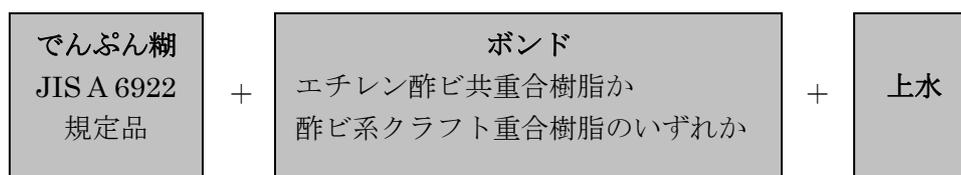
●クロスの確認

- ・品番や柄の間違いがないかを確認してください。
- ・両耳の折れ、キズ、汚れなどが無いことを確認してください。
- ・生地裏表の確認をして下さい。ピーウォールクロスは外表巻きです。

注意 商品の性質上、貼り直しが出来ませんので十分ご注意ください。

●接着剤の確認

- ・規定量のボンドを配合しなかったり、規定以上の水で希釈した場合は、接着不良の原因となりますので、必ず以下の方法を守ってください。



配合割合
(重量比)

1

0. 2～0. 3

0. 4

■ピーウォールクロス®の施工方法

1. 糊付け

- ・LW-2885以外は裏打ち紙がありませんので、下地側に接着剤を塗布する向こう糊施工となります。
- ・ローラー塗布を基本とし、見切り部分や入隅等、糊の塗布しにくい部分は、刷毛を使用してください。

※クロス表面に付着したり、はみ出したりした糊は素早く拭き取ってください。これを怠りますとペンキを塗る際、色ムラの原因となりますので注意してください。

また、下地面のパテかす、ゴミは除去してください。

- ・LW-2885は裏打ち紙がありますので、糊付け機の使用が可能です。

2. 施工は「突付け」で

- ・施工法は、基本的に「突付け」をお願いします。やむを得ず重ね断ちをする場合は、下地を切り過ぎないように下敷きを入れてカットしてください。

3. 出隅

- ・10cm以上クロスをまわしてください。

4. 入隅

- ・折り返し部分はカットしてください。建物の多少の動きにも対応しきれいに仕上がります。
- ・

5. ロール反の切替え

- ・同一面は一本のロール反で施工することをおすすめします。

6. 施工道具

- ・なぜ刷毛や地べらは使用せず、必ずPCべらを使用してください。
- ・カッターの刃はこまめに取り替えてください。

7. 浮きのおさえ

- ・ジョイント部のローラーがけは軽くおさえる程度にしてください。
- ・天地の際は浮きやすいのでよくPCべらでおさえてください。

8. 終了時のチェック

- ・施工終了時は浮き、はがれがないかどうか等、自主検査を励行してください。

9. 作業後の皮膚の洗浄

- ・ガラスクロスですので、多少ガラス繊維が皮膚に付着し、チクチクする場合があります。取扱いには十分注意してください。手袋、マスク、長袖の着用をおすすめします。また、付着した場合は石鹼などでよく洗い流してください。

■ピーウォールペイントの塗装前の確認

1. クロスの状態

- ・クロスの浮き、はがれなどがないかどうか、改めて確認してください。

2. クロスの養生

- ・クロス施工後の乾燥状態を確認してください。
クロス施工を終えてから約 24 時間の養生が必要です。
環境が異なる場合はさらに乾燥が必要な場合もあります。
(気温 20℃前後、湿度 40～70%が望ましい環境です)

3. 色確認

- ・塗料の品番確認をしてください。

4. 希釈率

- ・ピーウォールペイント 1 缶 (16k g) に対し、上水 800 c c ~ 1000 c c を加えた後、
攪拌機で十分に攪拌して下さい。仕上りはほぼツヤ無です。

注意 希釈率は、濃すぎても薄すぎてもきれいな仕上りが期待できませんので、必ず守ってください。

■ピーウォールペイントの塗装方法

1. 塗装の道具

- ・仕上げ工具はローラーブラシをお願いします。隅回り（ダメ込み）は、スモールローラーを使用してください。

＜仕上げローラーの目安＞

塗装一回目／中毛（13mm）

塗装二回目／中短毛（11mm）

2. 美しく仕上げるために

- ・マスキングを丁寧にしてください。特に巾木まわりは注意してください。

3. 一回目

- ・塗布量は約 300 g / m²が目安です。
- ・隅をスモールローラーで塗布後、すぐに全体を仕上げローラーで塗ります。
- ・同一壁面は、極力一度で塗装し、壁面途中での缶の切替えはしないよう心がけてください。
- ・一回目の塗布から乾燥時間を、約 24 時間とった後、二回目の塗布に入ってください。
- ・ジョイント部など、横糸のはねなどは削り取ってください。
- ・一回目と二回目の、希釈率は変えないでください。

4. 二回目

- ・塗布量は約 150 g / m²が目安です。
- ・塗り方は一回目の方法に準じますが、ローラーの耳マークが残らないように注意してください。
- ・塗装面に塗り残しや塗りムラがないかを点検してください。
- ・やむを得ず補修などをする場合でも、合計の塗布量は 550 g / m²を越えないように注意してください。